

科目名	発達障害者教育総論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	利 光 恵						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業では、特別支援教育の対象となる、LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群といった子どもたちの実態とその特性について概説し、どのような支援を行うべきかについて、近年の特別支援教育で実際に行われている指導方法について紹介する。						
授 業 の 到達目標	1. 発達障害に関する専門用語の意味を理解できる。 2. 発達障害それぞれの行動特徴を述べるができる。 3. LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群に関する定義と判断基準を説明できる。 4. LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群の児童への対応と指導方法について説明できる。 5. 通常学級内での発達障害児に対する指導上の課題について、自分の意見を述べるができる。 6. 発達障害における二次障害の発生の原因について説明できる。 7. 発達障害児の行動特性に関心や興味を持つ。 8. 事例を通して、発達障害児とその関与者の困り感を感じ取ることができる。 9. 専門用語を適切に用いて、文章で発達障害児の行動特性について説明ができる。 10. 発達障害児に対し特別支援教育が果たす役割について理解できる。						
学習方法	講義形式を中心とし、DVD 視聴による討議、小レポート提出を取り入れる。						
テキスト及び参考書等	適宜資料を提示する。						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○		◎	50		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	○	◎	30		
授業態度		○	◎		10		
受講者の発表							
授業への参加度		○	◎		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	発達障害とは何か						
第 2 週	LD の定義・判断基準						
第 3 週	LD の実態把握のための観点						
第 4 週	LD の児童・生徒への対応と指導						
第 5 週	ADHD の定義・判断基準						
第 6 週	ADHD の実態把握のための観点						
第 7 週	ADHD の児童・生徒への対応と指導						
第 8 週	高機能自閉症の定義・判断基準						
第 9 週	高機能自閉症の実態把握のための観点						
第 10 週	高機能自閉症の児童・生徒への対応と指導						
第 11 週	学校における指導・支援の実例 1						
第 12 週	学校における指導・支援の実例 2						
第 13 週	学校における指導・支援の実例 3						
第 14 週	学校における指導・支援の実例 4						
第 15 週	学校における指導・支援の実例 5						
第 16 週	試験						
備 考							